

新建千葉支部 液状化についての研究会

「東日本大震災による液状化—流動化の被害状況と発生メカニズム」

東日本大震災は、地震や津波による大被害に加え、原発による放射線の被爆と、東北地方から関東にかけての広範囲の地域に未曾有の災害をもたらしました。

千葉県内でも、旭市飯岡地区の津波被害、そして、浦安市・千葉市などの湾岸地域や香取市・我孫子市などの内陸部では、「液状化—流動化」による地盤の沈下、建物の傾斜、ライフラインの損壊などの被害を生じています。

液状化により傾斜した建物の復旧作業が一部で始まりましたが、液状化によってゆるんだ地盤の沈下は一定の期間継続することや、繰り返し液状化が起こる恐れもあることなどから、復旧工事は工法の選択を含め慎重に行うことが必要です。選択を誤ると隣地に二次被害を及ぼす恐れさえあります。

建築技術者には、液状化被害に対する補修などに積極的に関わっていくことが求められていますが、なにより正確な知識を持って適正な工法の選択等を行うことが必要となっています。

このような状況から、急きょ、これまでも液状化の調査・研究を精力的に進めてこられた千葉県環境研究センターの主席研究員の楠田さんに、過去や今回の「液状化—流動化」による被害状況、液状化の仕組みや補修における課題などを話していただくこととしました。

皆様のご参加をお待ちしています。

- 日時：5月12日（木） 午後18：30～
- 場所：千葉市民会館 3階 第5会議室
JR千葉駅東口から徒歩7分
- 講師：楠田 隆氏
千葉県環境研究センター
地質環境研究室 主席研究員
- 参加費：一人1,000円（資料代を含む）



主催：新建築家技術者集団千葉支部

申込・問合せ：新建築家技術者集団千葉支部事務局

(株)ゆま空間設計 加瀬澤

office@yumaku-kan.co.jp

TEL 043-253-8801

FAX 043-253-8806

千葉市若葉区みつわ台 5-4-14



尚、資料準備のため必ず予め申込み下さい。会場の都合上先着36名とさせていただきます。